

鬼北町議会 12月定例会

第4回鬼北町議会定例会は12月13日に開催されました。会では議案6件、選挙1件が提案され、全案件について原案のとおり可決されました。

議案

- 鬼北町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 平成24年度鬼北町一般会計補正予算(第4号)について
- 平成24年度鬼北町成川溪谷休養センター特別会計補正予算(第2号)について
- 平成24年度鬼北町介護保険特別会計補正予算(第2号)について
- 平成24年度鬼北町水道事業会計補正予算(第1号)について
- 平成24年度鬼北町病院事業会計補正予算(第1号)について

一般質問

◆渡邊 眞次 議員

【鬼北町庁舎改修全般について】

問 鬼北町庁舎改修の工程表、事業費について

答 株式会社レーモンド設計事務所に、

「庁舎に係る耐震改修増築設計業務」を委託しており、設計協議中である。

今後は、今年度中に実施設計を完了させ、平成25年度に増築棟の建設工事に着手し、平成26年度に本庁舎の耐震改修工事を行う予定としている。

しかし現在、庁舎設計監修委員会の意見および町職員で構成する鬼北町庁舎改修検討委員会の要望などを調整する必要が生じており、当初予定していた工程が遅れている状況である。また、設計途中であるため、現段階で事業費について明確な額を答えることはできない。

◆選挙

【高齢化社会への取り組みについて】

問 鬼北町の取り組みの現況と今後の考えについて

答 本町の高齢化率は、平成24年4月1日現在37・4%で、県下でも5番目に高い高齢化率となっているが、今後高齢化が進行し、平成30年度には43・2%になると推計されている。本町では健康を守る施策として、町内各地区で健康診断や各種がん検診に

取り組んでおり、健康診断のうち特定検診については、県下で3番目に高い42・3%の受診率となっている。各種がん検診については、各職場での検診、個人的な受診等により、約30%と推計されており、今後、目標である40%の受診率を目指していく。

また、健康づくり施策として、健康学級の開催や健康相談・健康指導等にも積極的に取り組んでいる。

さらに、一般高齢者施策として、認知症予防教室や運動教室を実施するとともに、特定高齢者施策として、運動機能向上教室等も併せて実施している。

独居高齢者等に対する支援策としては、民生児童委員の家庭訪問や、状況に応じて地域包括支援センター職員や保健師も家庭訪問を行っており、生活状況によっては、配食サービスや、緊急通報装置の設置なども利用できるようにしている。

また、今年度新たな取り組みとして、治療中の病气、かかりつけ医療機関、緊急連絡先等の必要な情報を容器に入れて冷蔵庫などの特定の場所に保管しておく「救急医療情報キット」を約1,500セット購入し、町内の独居高齢者世帯519戸と高齢者のみの世帯927戸等を対象に、申請により必要な世帯に無償配布を計画している。

【南予いやし博後の観光事業の展望について】

問 三間、鬼北、松野、そして高知へと続く四万十川観光ルートの開発に対する町長の考えについて

答 まず四万十川流域市町との連携策

の一つとして四万十市、四万十町、松野町、鬼北町の4市町負担により、三間インターから鬼北町方面に向けた道路案内標識を2カ所設置することとしており、近日中に着工の見込みである。

また、予土交流のイベントも引き続き開催できるよう連携を強化していくとともに、四万十町の民間施設である「ホビー館」、「カツパ館」等との連携も進めていきたいと考えている。

併せて、鬼北町の頭文字「鬼」をモチーフにしたモニユメントの設置などの計画も検討中である。

【興野々遺跡の価値と今後の保存活用について】

答 昨年度からの発掘調査で、四国西南地域ではこれまで検出事例のない、集落の外周に溝をめぐらせた「環濠集落」であることが確認されている。

また、これまで分かっていたいなかった中山間地帯における弥生時代集落の規模や構造、生業などを知る上で極めて貴重な遺跡であり、更にこれまでの定説とは異なる、稲作農耕を基盤とした「もうひとつの弥生文化」を示す遺跡として、非常に高い価値をもっていることが明らかになっている。

今後の保存活用については、記録作業を行った後、遺構が壊れないよう保護しながら埋め戻すことにしている。

◆井上 博 議員

【行革甲子園について】

問 行革甲子園で発表したことはあるか。また、参考になった事例はあったか。